

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

863

コンベンション推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
中事業		コンベンション推進事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 岩坂 真弓 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	コンベンション参加者の宿泊増加を図り、観光リピーターの創出を図る。		「学会」「会議」「各種大会」「見本市」等の催しに参加し、和歌山市内で宿泊する参加者の延べ人数51人以上のコンベンション主催者に対し補助する。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	和歌山市の宿泊施設に宿泊する参加者の人数が51人以上のコンベンションの主催者に対して補助する。	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	19,621	31,089	28,933	27,587	28,906	21,508	28,999	0	28,999	0	
伸び率(%)	△0.7%	34.4%	47.5%	△11.3%	△0.1%	△22%	0.3%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	6,541	6,381	6,394	9,990	11,357	12,484	12,484	0	12,484	0
	正規職員以外	0	0	0	238	662	844	229	0	229	0
	小計	6,541	6,381	6,394	10,228	12,019	13,328	12,713	0	12,713	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	19,621	31,089	28,933	27,587	28,906	21,508	28,999	0	28,999	0	
所要人数(人)	正規職員	0.82	0.80	0.80	1.25	1.41	1.55	1.55	0.00	1.55	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.10	0.29	0.37	0.10	0.00	0.10	0.00
主な予算内訳	全国大会誘致和歌山市議会議員連盟交付金 1,000千円 和歌山市コンベンション事業推進補助金 27,794千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
大会開催回数		件	目標値	71	80	80	80	80
			実績値	82	80	74		
			達成度(%)	115.5%	100%	92.5%	%	%
宿泊者数		人	目標値	24800	24800	24800	24800	24800
			実績値	32140	30764	25296		
			達成度(%)	129.6%	124.0%	102%	%	%
大会参加者数		人	目標値	37200	37200	37200	37200	37200
			実績値	49327	41005	39558		
			達成度(%)	132.6%	110.2%	106.3%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市でコンベンションを開催しようとする者を支援することにより、市内での宿泊者の増加に寄与している。@宿泊事業者から一層の補助金拡充を求める声もあることから、民間事業者にとっても効果を実感できる有効な補助金といえる。@
見直し・改善内容	平成31年度より、補助金交付要綱の一部改正を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金額の算定方法を申請者に分かりやすいものにする。 ・オフシーズン開催の大会に対し、補助金額を拡充する。 ・一定の要件を満たす大規模大会に対し、補助金額を拡充する。